

取扱説明書

アキュムレータ

LAQ-880



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目 次

		ページ
1.	概 要	 2
2.	製品名	 2
3.	構造と特長	 2
4.	運搬および保管	 2
5.	配管要領	 2
6.	使用上の注意	 3
7.	分解・組立要領	 4
8.	交換部品	 4
9.	保証期間	 4
10.	アフターサービス	 4
11.	構造図	 5

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。ご使用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用くださいますようお願いいたします。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後もお手元におかれることをおすすめいたします。

1. 概要

本製品は、主に LP ガス配管の緊急遮断弁の操作用油圧配管に取り付けられます。油圧配管内の油は、外気温度の変化によって膨張、収縮を起こすため、圧力の変動を生じます。著しい圧力の上昇は、装置や配管系の破損また圧力降下は緊急遮断弁の閉止などの弊害を生じる危険性があるためアキュームレータは、圧力変動を緩和し、常に適正な油圧を保持するために使用されます。

2. 製品名

- | | | |
|----------|-------|----------|
| (1) 品名 | | アキュームレータ |
| (2) 型式 | | LAQ-880 |
| (3) 図面番号 | | B-85394 |

3. 構造と特長

- (1) ボディ内部はピストンにより 2 室に分け、油圧室(下部)に油、ガス圧室(上部)に不活性ガスが入る構造となっています。
- (2) あらかじめ、ガス圧室側に窒素ガス等の不活性ガスが 2.5MPa の圧力で封入してあり、油圧室側に 3.5MPa の油圧を加えると、ピストンが作動し、ガス圧室側も 3.5MPa になったところでバランスします。外気温が上昇し、油が膨張し、容積が増すとガス圧室の不活性ガスが圧縮され、急激な油圧の上昇を防止します。逆に気温が下がり油が収縮した場合は、不活性ガスの圧力により油圧を保持することができます。

4. 運搬及び保管

- (1) アキュームレータを落とす、投げるなどの乱暴な取扱いで、強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となります。
- (2) 運搬および保管は、荷姿のままで、ゴミ、ほこり雨などが、かからない様にして下さい。

5. 配管要領

- (1) 配管のネジ部を清浄して下さい。特にネジ部に傷、打痕などがあると、ネジのかじりや、油漏れの原因となります。また、ネジは適正なトルクで、油漏れの無い様締め付けて下さい。
- (2) 油圧配管内を清浄にし、アキュームレータ内に、スケーム、切り粉等が入らない様にして下さい。
- (3) 油圧がゼロの状態、不活性ガスが 2.5MPa 封入されていることを確認して下さい。

6. 点検及び保持

- (1) 油圧を抜いた状態で、不活性ガスの圧力が 2.0MPa～2.5MPa の範囲にあることを確認して下さい。圧力が 2.0MPa 以下になったときは、2.5MPa まで封入して下さい。
- (2) 封入手順は下記によります。
 - (ア) 油圧を抜き、油圧をゼロとする。
 - (イ) ガス封入口の⑩キャップを外し、封入用配管を接続する。
 - (ウ) 気体封入弁を開ける。
 - (エ) 圧力計指示が 2.5MPa になるまで、不活性ガスを封入する。
 - (オ) ⑥気体封入弁を締める。
 - (カ) 封入用配管を外し、⑩キャップをねじ込む。
 - (キ) ガス漏れのないことを確認する。
- (3) 封入ガスの圧力が著しく減少する場合は、分解点検を行って下さい。

7. 分解・組立要領

7. 1 分解要領

- (1) 油を抜いて下さい。
- (2) ⑩キャップを外し、⑥気体封入弁を開けガスを抜いて下さい。
- (3) アキュームレータを配管から外します。
- (4) ④キャップを緩めて外します。
- (5) ③ピストンを抜き取ります(ピストン中央部のネジに、ボルトなどをねじ込み引き抜きます)。
- (6) ⑤Oーリングを外します。

7. 2 組立要領

- (1) 分解した部品のゴミ、錆などは十分に洗淨して下さい。
- (2) ⑤Oーリング、⑪パッキンは新品と交換して下さい。また、組立の際は、シリコングリスを塗布して下さい。
- (3) 組立は、分解と逆の手順で行って下さい。

8. 交換部品

分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用して下さい。
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。

9. 保証期間

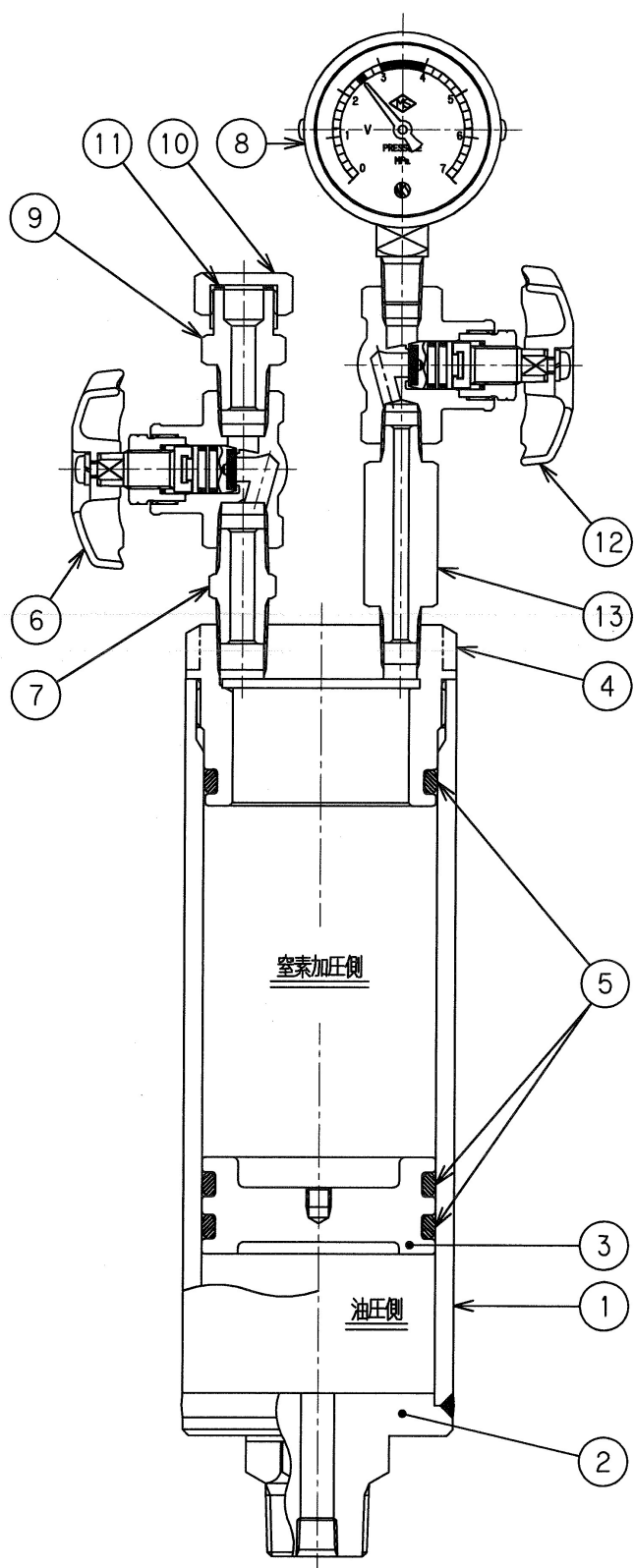
弊社工場出荷後 18 ヶ月内または設置後 12 ヶ月内のうち、何れか早く到来する期間内において、製造上の問題に起因する故障が判明した場合には、無償修理または交換を行ないます。

10. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。
※製品の型式、サイズ、図面番号などをお知らせください。

11. 構造図



13	継手	S25C	1	
12	圧力計元弁	C3771B	1	LPI-8H
11	パッキン	R.PTFE	1	
10	キャップ	C3604B	1	
9	プラグ	C3604B	1	
8	圧力計	C3604B	1	AUV1/4PTx60 (7MPa)
7	継手	S25C	1	
6	気体封入弁	C3771B	1	LPI-10H
5	O-リング	NBR	3	
4	キャップ	S25C	1	
3	ピストン	SUS304	1	
2	キャップ	S25C	1	
1	シリンダー	STPG370	1	
No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(Tel)011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	大阪営業所 (Tel)06-6541-8711	(Fax)06-6541-8718
仙台営業所	(Tel)022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	九州営業所 (Tel)093-921-0981	(Fax)093-921-0984
東京営業所	(Tel)03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	広島出張所 (Tel)082-426-5002	(Fax)082-426-5003
名古屋営業所	(Tel)052-951-3860	(Fax) 052-951-3862		